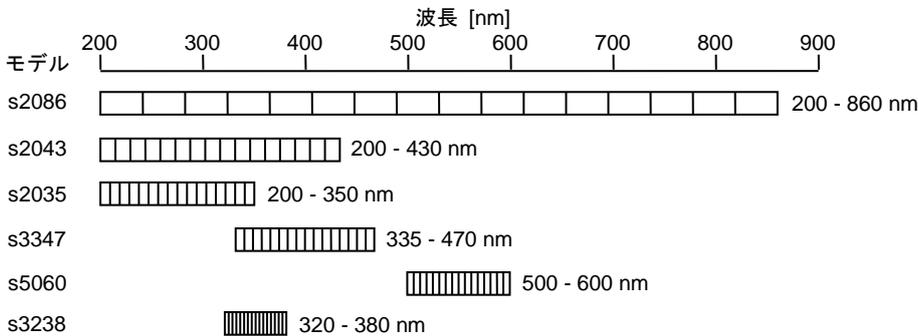


# 内蔵分光器（モデル s2086, s2043, s2035 など）の選び方

MH-5000 は、内蔵分光器の仕様によるモデルがあります。主なモデルは以下の通りです。

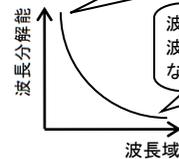


モデル名の意味

**s2086**  
 ↓  
 測定域の終点 860 nm  
 の上 2 桁  
 ↓  
 測定域の始点 200 nm  
 の上 2 桁

波長分解能が高いほど、波長域は狭くなります。

波長域が広いほど、波長分解能は低くなります。



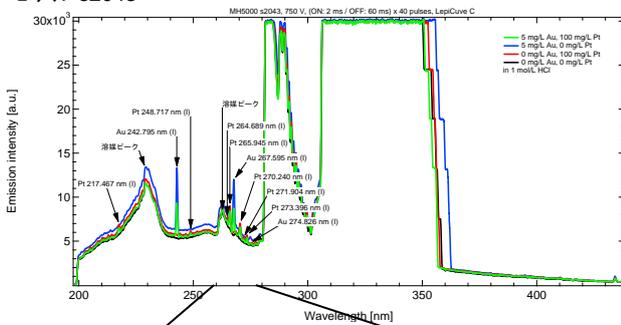
波長域の広さと波長分解能の高さとは、反比例の関係にあります。測定波長域が広いほど、より多くの元素のピークを測定できます。波長分解能が高いほど、隣接するピークの分離がより可能になります。

モデルの違いによる輝線の見え方の違いを、以下に例示します。

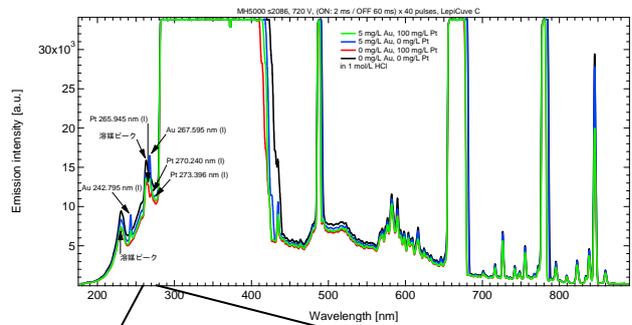
## 01 Au（金）と Pt（白金）

輝線が隣接している金および白金の標準液を s2043 と s2086 で測定しました。

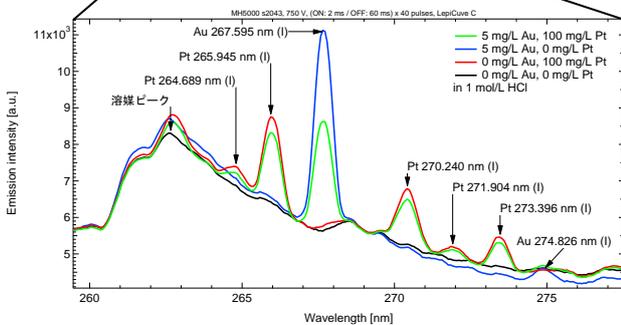
モデル s2043



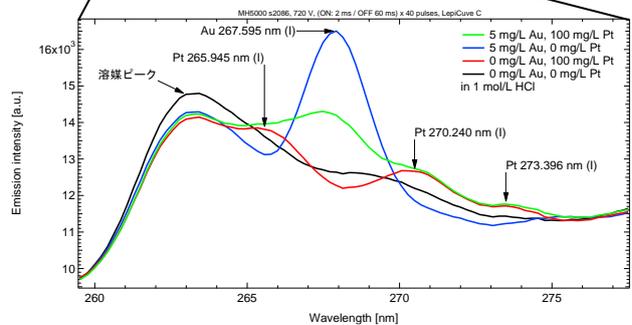
モデル s2086



259.5~277.5 nm を拡大表示

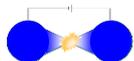


s2043 では、Au, Pt 輝線を分離できます。



s2086 では、Au, Pt 輝線を分離できません。



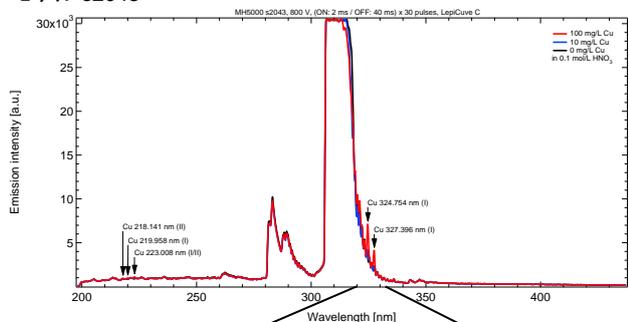


## 02

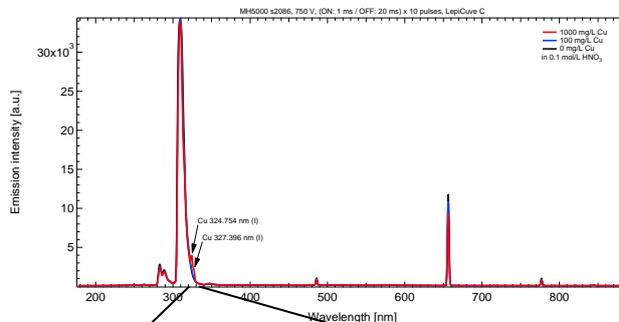
## Cu (銅)

銅の標準液を s2043 と s2086 で測定しました。Cu の最も強い輝線 (324.754 nm) は、300 nm 付近の OH ピークに隣接しています。この輝線が OH ピークに覆われない測定条件にしました。

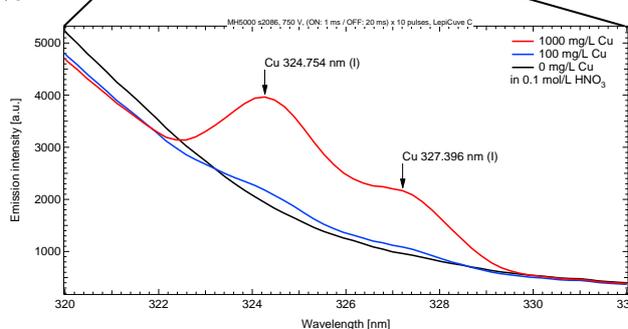
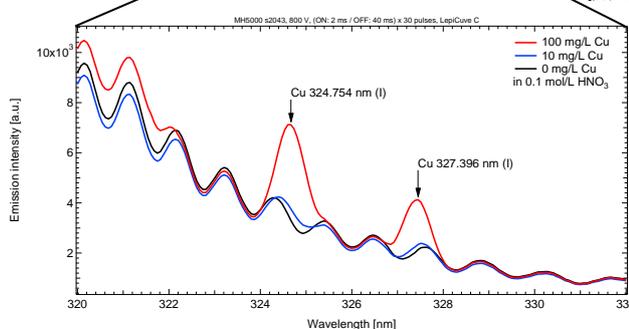
モデル s2043



モデル s2086



320~332 nm を  
拡大表示



s2043 では、Cu の 2 つの輝線が分離できます。  
s2043 では、s2086 より強い測定条件にできるため、  
100 mg/L Cu で Cu 輝線が明瞭に見えました。

s2086 では、Cu の 2 つの輝線の裾がつながって見えます。  
s2086 では、Cu 輝線が OH ピークに覆われないよう、測定条件  
をかなり抑えています。そのため、100 mg/L Cu では Cu 輝線が  
はっきり見えず、1000 mg/L Cu でようやく明瞭に見えました。

モデル選定の参考資料として、モデルごとの元素別発光スペクトルをご用意しています。●

## MICRO EMISSION

株式会社マイクロエミッション

〒923-1211 石川県能美市旭台 2-13 いしかわクリエイトラボ

TEL 050-5236-1111

Mail sales@microem.co.jp

http://www.microem.co.jp/